

環境検討部会（第15回）議事要旨

1. 日 時：令和5年3月1日（水）14:00～16:20
2. 場 所：小山市役所・会議室
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事概要：本検討部会での決定事項、検討事項等は以下のとおり。

1) 生物調査について

（委員）

今後施工する水路の曲線部では内側は寄洲となり、土砂が堆積することで、抽水植物などの群落が定着することが期待できる。また、直線部でもフトン籠や井桁護岸などの多孔質の構造を設けることで、魚類等の隠れ場となることが期待でき、環境配慮施設を検討するに当たっては、これらも考慮しつつ検討されたい。

（委員）

西清水川排水路と支線排水路との間に整備された魚道の機能を評価するには、排水路本川の水深、魚道を流下する流量や越流水深、魚道と排水路本川との接続部における落差等についても継続的に調査し効果を検証されたい。なお、魚道の利用状況を確認するためにタイムラプスカメラが有効であるので検討されたい。

（委員）

幹線排水路がもっている生態系保全上の機能を把握するため、魚類の生活史の中で、排水路の改修範囲外（支線排水路を含む）を含め、繁殖等がどこで行われているか推定できないか。

（委員）

西部幹線排水路では、工事実施に先立ち、ドブガイ類の保護移動を実施した。保護移動先の生息環境が西部幹線排水路の捕獲地点 SK-1 の生息環境と類似した生息環境であるか、また、ドブガイ類の生息を確認する調査を検討されたい。

2) ナガエミクリのモニタリング結果等

（委員）

説明内容は、既にナガエミクリの群落が成立している環境を基に検討し、移植適地の水理条件等を設定しているが、ナガエミクリの生活史を踏まえると、移植時・生長過程・定着後の群落成立時における水理環境は異なると考えられる。ナガエミクリの保全に向け、どのような対策をすれば良いかは今後の検討課題となる。